



VERSAILLES

Communiqué de Presse Novembre 2023

EXPOSITION JOUETS

ROBOTS

ÉMERGENCE D'UNE CULTURE JAPONAISE

23 DÉC. 2023 > 25 FÉV. 2024

ESPACE RICHAUD

78 BD DE LA REINE • TARIF: 7€ - RÉDUIT: 5€

ENTRÉE LIBRE POUR LES -26 ANS

+ D'INFOS SUR VERSAILLES.FR

Réalisation : Direction de la communication, Ville de Versailles / Delphine Joly - Robot - Kress Jumbo - © Bullmark - Photo © Daniel Bous



78actu

BeauxArts

marie claire
Maison

le Bonbon

Paris MÔMES

Élargir
son Paris

lulu berlu
LULUBERLU.COM

transilien





26-Goriking, Astekaiser, Japon, 1976 © Yonezawa © Daniel Rous

ロボット、日本の「ソフト・パワー」の始まり

UFOロボ グレンダイザー (仏名ゴルドラック)、キャプテンハーロック、キャプテンフューチャー、宇宙伝説ユリシーズ31、宇宙からのメッセージ、銀河大戦、鉄腕アトム...70年代末から80年代初めにかけて、フランスに上陸した日本の新たなヒーローたち。人々は、その独自性と創造性に驚愕しました。

西洋はまだ、それが日本の「ソフト・パワー」(軍事力や経済力に限らず文化も力であると提唱した国際関係アナリスト、ジョセフ・ナイの概念) の始まりであることを知りませんでした。その後、漫画やアニメーション映画、代表的な作者 (鳥山明、宮崎駿、村上春樹、谷ロジロー...)、大人気シリーズ (Akira、ドラゴンボール、ONE PIECE、NARUTO -ナルト-、DEATH NOTE...) が続々と続きます。これらの日本文化は、90年代から今日まで世界的な大成功を収めています。

当時、ロボットは、メインまたはサブキャラクターとして、ほぼすべてのシリーズに登場していました。侍の影響を強く受け、鎧や甲冑を装備した金属製の正義の味方たちは、日本の子供たちの玩具に形を変え、エピソード制作の収益化を担いました。

エスパス・リシヨールは、従来から開催しているポップカルチャーの一部となった象徴的な玩具展覧会の一環として、遠い日本からやって来た変幻自在の数々の金属製ヒーローたちを紹介します。



29-Grendizer, « Guldorak Jumbo » Japon, 1976 © Mattel © Poppy © Daniel Rous





展覧会

フランス最大の70-80年代日本ロボットコレクションをご覧ください！展覧会コミッショナー、バティスト・カイヨーが、25年をかけてこつこつと集めた約300体のロボットと当時のパッケージが、初めて一同に展示されます。

希少且つ貴重な展示ロボットは、その多種多様な色彩と形状から、驚くべき美しさで魅了します。人々に興味や感動、恐怖を抱かせる機械たち。ロボットは、カ・英知・混沌を同時に体現しています。日本のスーパーヒーロー、世界を守るために戦う無限に変形可能なロボットたちの偉大なる冒険物語をご堪能ください。主な見どころは、マジンガーをパイオニアとするメカや、ゴルドラック（UFOロボグレンダイザー）、鉄腕アトム、宇宙伝説ユリシーズ31などアイコン的存在のポピー製玩具です。

本展では、ブルマアク、タカトクトイス、クローバー、ナカジマなどフランス初展示となる、よりレアな日本玩具メーカーのロボットも紹介します。瞬く間に伝説的玩具となったこの漫画のキャラクターたちは、すべての「スーパーロボット」シリーズが、日本文化に名を刻み世界中で展開する道を切り開きました。フランスで最も有名な「スーパーロボッ

ト」は、間違いなく1975年に誕生したゴルドラック、原名「UFOロボ グレンダイザー」です。原作者である永井豪は、マジンガー（1972年）など「人が乗り込み」操縦するロボットを創造しました。

「スーパーロボット」は、子どもの想像の世界、最古の武術の伝統、現代のロボット工学が出会い進化を遂げてきました。そして、ポップカルチャーであるテレビシリーズやアニメ化された多くの漫画のキャラクターという枠を超え、70年代から80年代のヨーロッパにおける日本文化の急速な普及を象徴する大人気の玩具になりました。美的探求、伝統、技術革新が組み合わさった玩具、それはまさに工学と創造性の傑作です。70年代から80年代の初代「スーパーロボットたち」は、パワーレンジャーやガンダム、トランスフォーマーなど、今日も変わらず子供たちに愛される多くの後継を残しています。



コミッショナー

バティスト・カイヨー (Baptiste Caillaud)

俳優、コレクター、パリの演劇学校cours Florent教師、話し方講師。多彩な職業や活動に精力的に取り組み、唯一無二の自身のロボットたちに情熱を注ぐ。

アイコン的なロボ3体

UFOロボ グレンダイザー

1975 : 永井豪作 (日本)

1978 : 7月3日アンテナ2でゴールドラック74話放送

ベガ星人に攻め滅ぼされたフリード星からグレンダイザーを操縦し逃げのびたデュークフリード・宇門大介の冒険物語。地球に避難後、今度はベガ星の脅威にさらされた地球を守るため立ち向かう。

2023 : グレンダイザー誕生48年

鉄腕アトム

1952 : 手塚治虫作 (日本漫画の第一人者)

。アストロ・ボーイ、日本名「アトム」は、第二次世界大戦後の原子力を連想させる。ピノキオに直接影響を受けたストーリーは、息子を失い絶望した天才科学者が、息子に似せた「インテリジェント」ロボットを作り上げる。

発行部数1億部に上る世界で最も売れた漫画の一つ。

1963-1966 : 日本で放映。日本最初の連続アニメ。

1964 : 劇場アニメ化

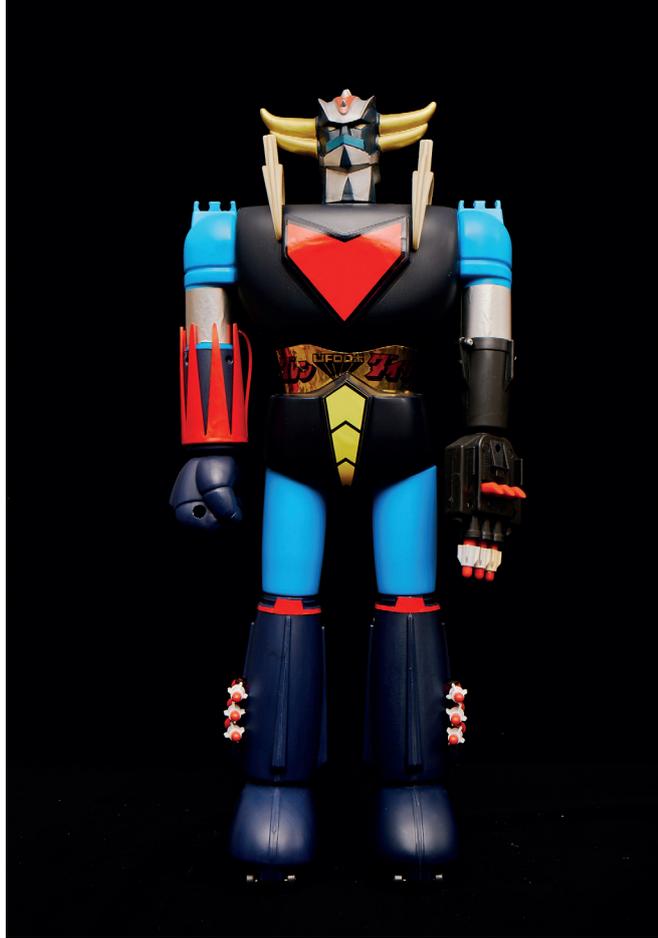
2003-2004 : 第3作放映

2009 : 3Dアニメ映画

2023 : 鉄腕アトム誕生71年

Black Fire

2022 : ケ・ブランリ-ジャック・シラク美術館「Ultime Combat」展QFX workshop製作 (バンコク) ユニークピース・高さ4m50



Bouken! Rockbat « Blazer Zenmai MekaMachine Jumbo » Japon 1975 ©Bullmark



Robocon, « Robocon » Japon, 1975-© Popy © Daniel Rous



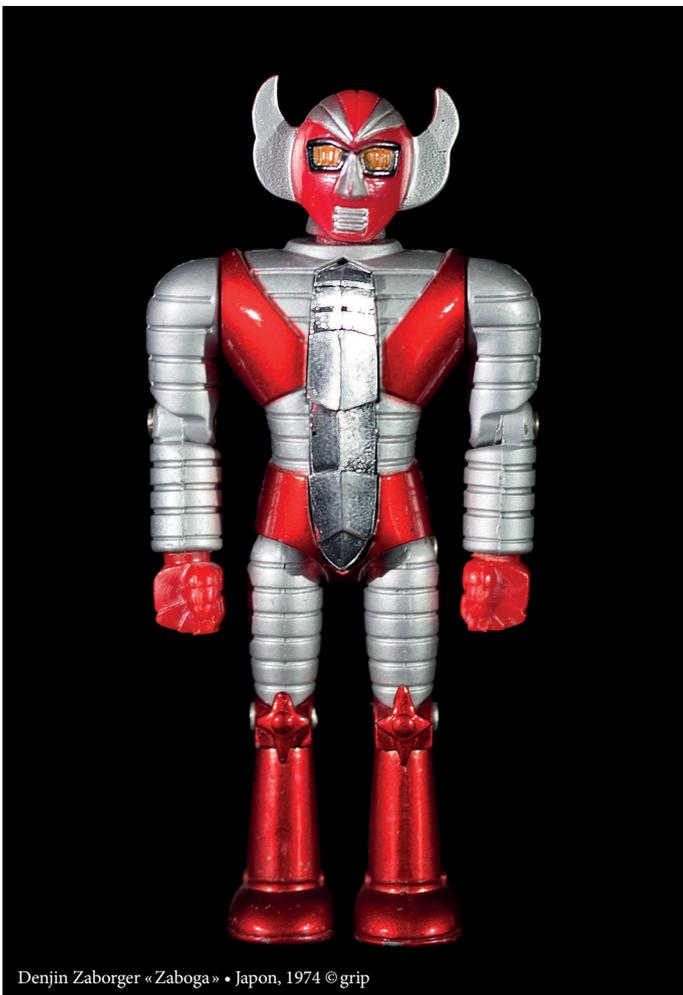
Batten Robomaru Karintomate-Series « WANBUNYA » Japon, 80's ©Popy ©Daniel Rous



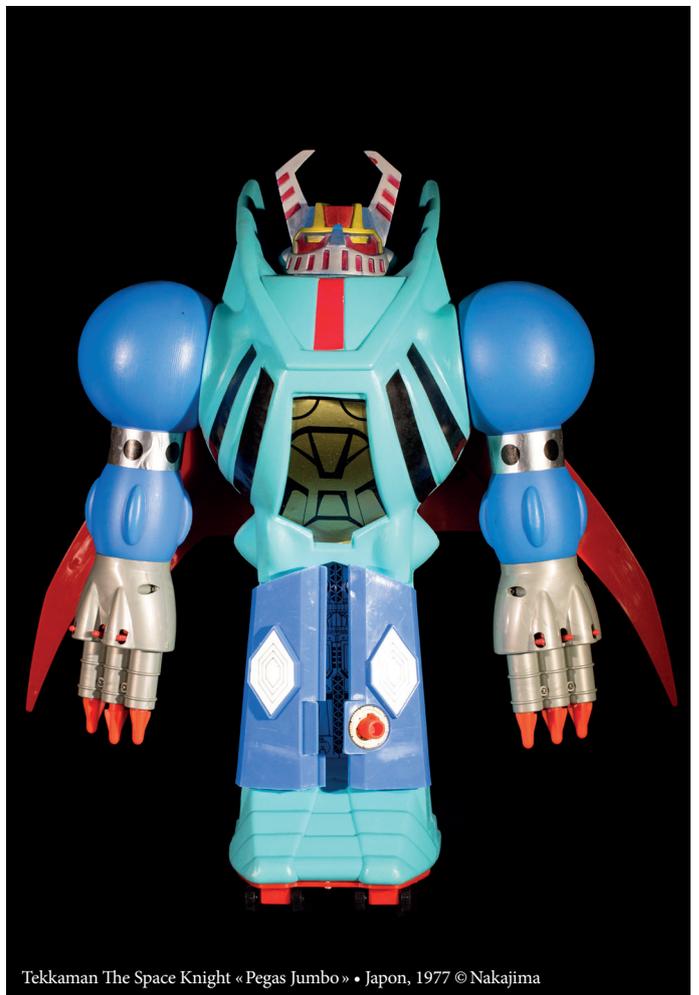
ZnDc Robots, « Vagatran 2 » Japon, 1970 © Daniel Rous



Captain Ultra « Marushin Garuban » • Japon, années 70 © Marushin



Denjin Zaborger « Zaboga » • Japon, 1974 © grip



Tekkaman The Space Knight « Pegas Jumbo » • Japon, 1977 © Nakajima

「ロボット」展覧会カタログ
 販売場所エスパス・リショー、ジベール・ジョセフ(ヴェルサイユ)、
 ルル・ベルリュ(パリ11区) 96ページ、15€





VERSAILLES

Informations

エスパス・リシヨール (Espace Richaud)
78, boulevard de la Reine
料金7€ / 割引5€
26歳未満無料

広報担当

クロード＝アニエス・マルセル (Claude-Agnès Marcel)
claude-agnes.marcel@versailles.fr
06 03 83 65 36

ルー・ドウソン (Lou Dessons)
lou.dessons@versailles.fr
01 30 97 80 98

VERSAILLES·FR

